



研究成果など披露 平泉遺跡群検討会

県教委と町教委が主催した平泉遺跡群検討会が3月15日、平泉郷土館で開かれました。検討会には、町内外から約100人が参加。初めに、県教委の平泉文化研究に取り組んだ関根達人弘前大文学部助教授、前川佳代京都造形芸術大非常勤講師、千葉工大大学院の磯野綾さん、千葉大大学院の鳥山愛子さんの4人が研究成果を発表。出土遺物や建物跡、遺構などから平泉文化や都市構造を探る内容について、それぞれの視点で話しました。町教委らによる無量光院跡、志羅山遺跡、坂下遺跡などの調査成果も報告されました。



児童を交通事故から守ろう 交通安全母の会が啓発活動

町交通安全母の会連合会（千條トシ子会長）は3月16日、交通安全活動の一環として、新入学児童用の黄色い帽子80個、ランドセルカバー80枚などを町教育委員会に贈りました。帽子とカバーは、平泉・長島両小学校の新1年生に配られ、児童の交通安全に役立てられます。



安心して楽しめる観光地へ ユニバーサルデザインシンポ

観光地におけるユニバーサルデザインシンポジウムが3月10日、平泉郷土館で開かれました。町内外約70人が参加。講演やパネルディスカッションを通して、高齢者や障害者、外国人などすべての人が安心して楽しめる観光地づくりをどう進めていくべきかについて理解を深めました。

役割意識を見直そう 男女共同参画講演会

町が主催し、平泉女性の会、町地域婦人団体協議会などが後援した男女共同参画講演会が3月17日、役場で開かれました。町内外から約50人が参加。講師を務めた盛岡市もりおか女性センター副センター長の田端八重子さんが、「ともに支えあう社会をめざして 自分らしく生きるとは」と題して講演。男女の役割意識の弊害などを紹介しながら「何をしたいのかを女性が自分で決め、考えを表現できるようになることが大事。自分らしく生きることを目指そう」と呼び掛けました。



町立幼稚園に隣接して整備 新しい平泉保育所が完成



子どもたちも先生と一緒に引っ越し作業を行った

昨年8月から行われていた平泉保育所の改築工事が2月28日に完了し、真新しい園舎での保育が3月5日から始まりました。同保育所の新園舎は、幼稚園と保育所の将来的な一体運営を目指し、町立幼稚園園舎に隣接して建設されました。構造は木造平屋建てで、延べ床面積は736・15平方メートル。同幼稚園園舎との間を廊下でつなぎ、玄関やホ

ール、職員室などを共用しています。0歳児から5歳児まで1室ずつ、計6室の保育室を設置。今回新たに、一時保育室と子育て支援センターの専用スペースを設けました。同幼稚園への給食の提供を見据え、調理室の機能も一層充実させました。園庭は、旧保育所の解体跡地を平成19年度内に整備して活用。運動会などの行事や日常的な屋外保育の場として、同幼稚園と共用します。園舎改築で保育環境が改善されたことにより、同保育所では4月から、保育定数を60人から90人に上げました。特に受け入れ需要が高い0歳から2歳までの子どもを入所枠を拡大し、保育事業の充実を図っていきます。今後は、行事開催などで同幼稚園との連携を強化しながら、幼稚園・保育所の将来的な一体運営を目指していきます。

◎施設概要

延床面積…763.15平方メートル
構造…木造平屋建て
部屋数…▷保育室6室
▷一時保育室1室
▷子育て支援センター1室
総事業費…約2億3000万円

◎問い合わせ先

平泉保育所 ☎46-2767
平泉町立幼稚園 ☎46-2575
町民福祉課 ☎46-5562



上ノ保育室は広い空間を持ち、子どもたちが伸び伸びと遊ぶことができます。またすべての保育室で日当たりが良く、明るい雰囲気の中で保育が行われている。左ノ直接窓に面しないホールにも、天窓から明るい日の光が差し込む。木のぬくもりが感じられる建材が各所で使用されている